ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	NO.B-2	調査位置				北　緯	36 ° 44 ' 42.0000 "
発 注 機 関	栃木県日光土木事務所			調査期間	2009-12-22 ～ 2010-03-10	東　経	139 ° 30 ' 52.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	1038.19 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 45.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	11.05 m								エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	1037.39	0.80	0.80		礫混り粘性土 (C-G)	暗褐灰		軟らかい	崖錐。礫径10から30mm混入。腐食物混じる。含水比中位。		
1	1036.09	1.30	2.10		粘土混り砂礫 (GS-C)	暗褐灰	中ぐらい		崖錐。礫径10から50mm主体。間隙に粘土分を含む粗粒砂充填。部分的に粘土分多い。		
2	1035.44	0.65	2.75		玉石 (B)	暗灰	非常に密な		安山岩質転石。岩質脆く砂状及び短柱状コア主体。		
3					玉石混り砂礫 (GS-B)	暗灰			コア長5から15cmの転石非常に多い。 転石は溶結凝灰岩系多い。 転石間は火山灰質の粗粒砂を充填。 4.60から5.00m間、火山礫を含む固結砂主体。 5.60から5.90m間、火山礫を含む固結砂主体。 固結部は良く締まり10cm貫入は12から20回を示す。 溶結凝灰岩系転石は硬質。		
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11	1027.14	8.30	11.05								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1／12	1／9	10／9	12／30	12
1.45					
2.15	15	24	11／5	50／25	>50
2.40					
3.15	50			50／10	>50
3.25					
4.15	16	34		50／20	>50
4.35					
5.15	18	32／4		50／14	>50
5.29					
6.15	25	25／6		50／16	>50
6.31					
7.15	50			50／10	>50
7.25					
8.15	50／3			50／3	>50
8.18					
9.15	50／8			50／8	>50
9.23					
10.15	50／4			50／4	>50
10.19					
11.00	50／5			50／5	>50
11.05					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
1.15	1	⊖		
1.45				
2.15	2	⊖		
2.40				
3.15	3	⊖		
3.25				
4.15	4	⊖		
4.35				
5.15	5	⊖		
5.29				
6.15	6	⊖		12/25
6.31				
7.15	7	⊖		
7.25				
8.15	8	⊖		
8.18				
9.15	9	⊖		
9.23				
10.15	10	⊖		12/26
10.19				
11.00	11	⊖		12/27
11.05				